

2025年度 名古屋高速道路公社 入札監視委員会の結果について

開催日及び場所	2026年1月27日(火) 名古屋高速道路公社 黒川ビル2階 大会議室		
委員	西山 一博(委員長 弁護士) 野田 直季(委員長代理 公認会計士) (敬称略)		
審議対象期間	2024年4月1日～2025年3月31日		
抽出事案 〔工事〕	総件数 2件		
一般競争入札	(総合評価落札方式) 2件	令和6年度高速16号一宮線舗装改築工事(第3工区)	
		令和6年度高速1号楠線橋梁修繕工事(大我麻工区)	
抽出事案 〔業務〕	総件数 2件		
一般競争入札	(総合評価落札方式) 2件	令和6年度名古屋高速道路の長期維持管理及び大規模修繕等に関する検討業務委託	
		令和6年度道路交通情報提供の高度化検討業務委託	
委員の質問に対する回答	質問	回答	
	別紙1のとおり		
講評	別紙2のとおり		

委員の質問に対する回答

1.入札及び契約手続の運用状況等の報告

1)契約状況

質問	回答
工事の随意契約2件について、その理由を知りたい。	随意契約方式の「令和6年度高速2号東山線画像処理設備更新工事」「令和6年度トンネル防災中央設備更新工事」の2件とも、保守期限を迎えるハードウェアの更新と既存ソフトウェアの調整及び動作確認を行う工事である。 工事実施においては、既存設備を運用しながら切り替え作業を行わなければならない、また、当該設備を構成するハードウェア・ソフトウェアは一体不可分のため、その双方の調整を適切かつ効率的に実施できるものを行う必要があるため、当該設備のハードウェア・ソフトウェアの設計・開発・構築を実施し、機能構造を熟知している唯一の事業者と随意契約したものである。
上記2件の工事は、同じ事業者を随意契約相手として長いのか。	電気通信設備工事は15～20年程度で大規模に入れ替えする工事を実施している。入れ替え後の更新工事にあたってはソフトウェアを使用しながら実施するため、上記のとおり随意契約で相手方としている。
令和6年度高速2号東山線他鉄道跨線部常設足場設計業務委託を指名競争入札とした理由を知りたい。	本件は鉄道管理者である東海旅客鉄道株式会社管内の在来線跨線部に係る業務であり、同社からの計画協議の回答の中で「弊社が発行する在来線作業従事員証を保有する会社から選定すること。」との条件が付されていたため、該当する会社として示された5社での指名競争入札とした。 なお、鉄道跨線部に係る案件の入札については、令和7年度発注分から一般競争入札に付している。

2)入札・契約制度の改正

質問	回答
建設コンサルタント等業務について、低入札対策の強化を行った動機は何だったのか。	国と同じ算定率での運用としており、国が算定率を変更したため改正を行った。
算定率を国に合わせたとのことだが、公社でより厳しくすることは考えているか。	国と同じ算定率での運用としているため、厳しくすることは考えていない。

2.抽出事案の審議

1)工事

○令和6年度高速16号一宮線舗装改築工事(第3工区)

質問	回答
金額が大きく、低入札価格調査対象となった工事 ・落札率が低かった理由を知りたい。 ・低入札価格調査の結果、落札決定とした理由を知りたい。 ・下請事業者等へのしわ寄せがないか調査をしているか知りたい。	本工事の落札率が低くなった理由として、①自社工場のアスファルト合材を使用することと自社保有機械の稼働で工事費を低減できること、②既存の事務所を使用することで経費削減が可能であることを確認した。 落札決定とした理由は、上記に加え、下請予定事業者や資材納入事業者等の見積金額を故なく減額しないこと、工事施工においても品質安全等の確保に万全を期し、粗雑工事を行わないことを確認した上で、誓約書も提出されていることから契約内容に適合した工事の履行が可能であると判断したためである。 下請事業者等へのしわ寄せがないかの調査については、特段の調査は行っていないが、建設工事全般的に施工体制台帳の添付資料として下請事業者との契約書、注文書、請書を発注者に提出する義務があることから提出のあった資料を確認し、特に問題が無いことを確認している。

○令和6年度高速1号楠線橋梁修繕工事(大我麻工区)

質問	回答
金額が大きく、低入札価格調査対象となった工事 ・落札率が低かった理由を知りたい。 ・低入札価格調査の結果、落札決定とした理由を知りたい。	本工事の落札率が低くなった理由として、①材料を長年にわたる取引によって信頼と実績のある取引先から調達すること、②県内支店にある人材、事務用品等を活用することで経費削減が可能であることを確認した。 落札決定とした理由は、上記に加え、下請予定事業者や資材納入事業者等の見積金額を故なく減額しないこと、工事施工においても品質安全等の確保に万全を期し、粗雑工事を行わないことを確認した上で、誓約書も提出されていることから契約内容に適合した工事の履行が可能であると判断したためである。

2)業務

○令和6年度名古屋高速道路の長期維持管理及び大規模修繕等に関する検討業務委託

質問	回答
落札率が低く、低入札価格調査対象となった業務 ・落札率が低かった理由を知りたい。 ・低入札価格調査の結果、落札決定とした理由を知りたい。	本業務の落札率が低くなった理由として、本業務獲得の観点から競争力のある価格設定が必要であると判断したと聞いている。 落札決定した理由は、上記に加え、本業務の成果品の品質確保に万全を期すことを確認したと誓約書の提出もあったことから、本入札価格にて契約内容に適合した業務内容の履行が可能であると判断したためである。

○令和6年度道路交通情報提供の高度化検討業務委託

質問	回答
2024年度入札監視委員会抽出事案である「令和5年度道路交通情報提供の高度化検討業務委託」の同種業務 ・令和5年度業務は低入札価格調査対象であったが、令和6年度業務は低入札価格調査対象となっていないため、両業務を比較してほしい。	令和5年度業務は、落札金額が調査基準価格を僅かに下回ったため低入札価格調査の対象となった。 それに対して、令和6年度業務は、落札金額が調査基準価格を僅かに上回ったため低入札価格調査の対象とならなかった。

3) 全般

質問	回答
入札金額の内訳のうち一般管理費について、低入札となった理由の調査をしているか。	一般管理費は企業の利益及び本社部門の経費(本社経費、役員給与等)であるため、財務諸表等で経営の健全性を確認できれば、具体的な削減の理由は調査していない。
入札時の内訳書のとおりではなく、実際は一般管理費ではなく、他の費目が削られていないか、調査方法について検討をする必要性を感じているか知りたい。	現時点では必要性は感じてはいない。 なお、令和7年12月に国の諮問機関である中央建設業審議会より工事請負契約標準約款の改正の勧告があり、国においては、適正な賃金や労務費を雇用する技能者や直接の下請事業者を支払うことを約するとともに、必要に応じて発注者がその支払いに関する書類の提出を求める任意条項の追加が導入されている。 当会社においては、他団体の運用状況を確認した後に対応していく予定である。

講 評

当入札監視委員会は、貴公社の入札制度の運用に関し、問題点の有無等を検討するものであるところ、不十分な調査検討のもとで、問題なしとするのであれば、真実は問題がある場合にも、問題がないことのお墨付きをすることになり、かえって行わない方がよいものともなりかねない。

この点について、昨年度指摘をさせていただいたこともあり、今年度は、当委員会の求める資料等について事前にも可能な限り提供いただき、説明をいただいたことで、この意味において一定の意義を持つ委員会の運用となったものと思料するとともに、ご協力いただいた職員の方々に感謝する次第である。

さて、本日ご報告いただいた案件について、本委員会の検討において、貴公社に不正あるいは不当といえる運用がなされているという事実は確認できず、本委員会の検討の限りにおいて、公正に行われているものと判断する。

ただし、低入札となった理由について、具体的な説明がなされていない点が散見され、特に一般管理費については本日報告があったすべての件について、最も比率が低かった上に、抽象的な説明に留まっている。他方で、特に削ることに問題のある直接工事費等について、実際に提出されている内訳どおり運用されているのかの十分な調査がなされていることが確認できなかったことからすれば、実際は一般管理費ではなく、他の費目が削られているか否かの十分な判断ができない面がある。この点、すなわち、特に一般管理費を含め、低価格となった各費目について、より具体的な調査を行い、回答を求める運用が今後なされることについての検討がなされるのが望ましいと思料する。